

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第26号

2012年7月11日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 D.C.会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

6・29 動労千葉鉄建公団訴訟

東京地裁反動判決弾劾！

名簿不記載を不当労働行為と認定

今こそ本気で解雇撤回 かちとる大運動を！

東京地裁民事第11部（白石哲裁判長）は6月29日、動労千葉鉄建公団訴訟において、原告である動労千葉争議団9人に対する国鉄清算事業団の90年4月1日解雇を「有効」とする反動判決を出しました。

他方で判決は、当時の改革労働（現JR総連）に突き上げら

「分割・民営化反対の組合を差別」



白石判決は、原告の動労千葉組合員が採用候補者名簿にいつたん記載されていたにもかかわらず、設立委員会への名簿提出期限（1987年2月7日）直前に急ぎ、国鉄当局が「停職6カ月または停職2回」という不採用基準を策定して原告ら（本州75人、全国で117人）を名簿から削除

◆訃報

阿部宗悦さんが逝去されました

国鉄闘争全国運動呼びかけ人であり、女川原発反対同盟代表として長年闘ってこられた阿部宗悦さんが7月7日に急逝されました。

したことに「動労千葉等、分割・民営化に反対する労働組合に属する職員を不当に差別する目的、動機の下に、本件名簿不記載基準を策定したと推認するのが相当」であり「裁量権の逸脱ないし濫用に当たる」と国鉄当局による不当労働行為を明確に認定しました。

国鉄闘争全国運動を大発展させよう！

「分割・民営化反対の組合を差別」

新たな一歩切りひらいた

田中康宏（動労千葉委員長）

今日は結果ありがとうございます。判決を聞いていて、やっぱりこんなひどい判決は絶対に許せないとあらためて思いました。

労働者の首がこんなたちでいとも簡単に切られていくんですか。労働者の首切りは、命を取られることに匹敵するんです。なんで解雇撤回を認めないんだ。判決を聞いていて改めて腹の底からの怒りにかられました。

首を切ったのはやつらなんだよ。裁判所は、それが不当労働行為だったと認めただよ。僕は25年間苦心したんで闘い続けたんですよ。それがこんなことで「解決」になるのか。冗談じゃない！

僕らは闘い続けます。そのことを今日もう一回、はっきりさせた。なぜなら、これは僕らだけの問題じゃないからです。国鉄分割・民営化で、労働者の首切りをいとも簡単にやっていんだという風潮になって、それ以降どれだけ労働者がひどい目にあったんですか。

1500万人の労働者が非正規職に突き落とされて、未来を奪われて、ワーキングプアと言われてすべてをホロホロにされた。国鉄分割・民営化はそういうことだったんです。

僕らは25年間、絶対にこれだけは譲れないと闘ってきたのは、われわれだけの問題じゃないと思っただけです。ぼくらはこれからも解雇撤回まで闘い続けます。

ただもうひとつ確認したいことがあります。裁判所もよっぽど追いつめられたんですよ。今日の判決は絶対に許せない不当判決ですが、解雇撤回に向けて裁判所をもう一歩追いつめた。2年前に旗を降ろした人たちが

外注化阻止・非正規職撤廃・強制出向粉碎！
検修・構内業務の10・1全面外注化阻止！

動労千葉総決起集会

（日時）7月14日（土）18時開場
（場所）千葉市生涯学習センター
〔主催〕国鉄千葉動力車労働組合

と判断されいずれも敗訴してききました。

今回、不当労働行為を認めさせたことは、一昨年の4・9政治和解を拒否し、原則を貫いて闘い抜いたことが切り開いた勝利です。全国運動をさらに発展させ、高裁で解雇撤回をかちとる大闘争をつくり出そう。

僕らは何年もかけてそれと徹底的に闘いぬいて、「停職6カ月または2回以上」という不採用基準自体が不当労働行為だと認めさせました。国鉄分割・民営化、採用差別は根本的に国家的不当労働行為だったということです。少なくとも新たな一歩を切り開いた。

一つ乗り越えたんだから今度は解雇撤回です。激しい組合つぶしと不当労働行為、職場を追われた20万の国鉄労働者のくやしき、自殺に追い込まれた200人の仲間たちのくやしき、その家族のくやしき。そのすべてを謝罪させる。

裁判所も、運輸機構も、JRもぜんぶここに引きずり出して「申し訳なかった。二度とこんなことはやらない。労働者の権利を尊重します」と頭を下げさせる。そこまで闘い続けましょう。

（6・29東京地裁前総括集会での発言）

